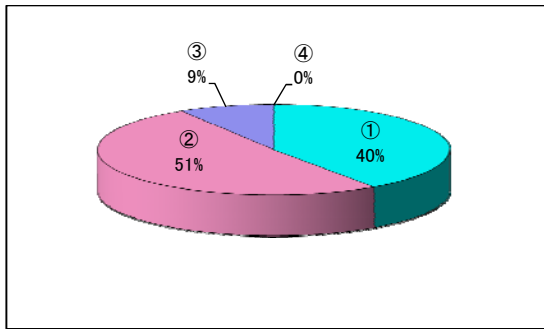


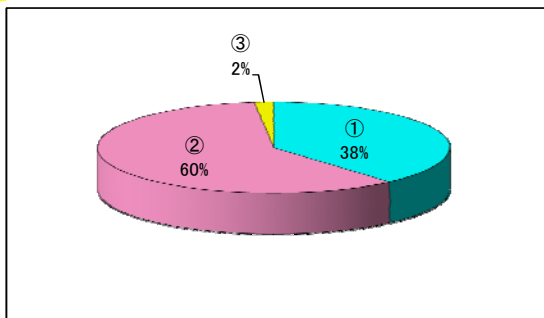
● アンケート調査結果

質問1 国有林の場所などに関して当てはまるものはどれですか。



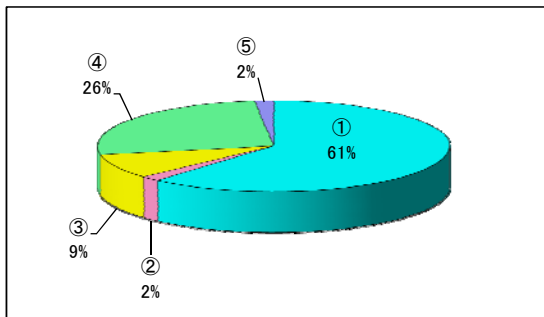
① お住まいの府県の国有林の位置を初めて知った	23人
② お住まいの府県の国有林の位置を少しは知っていた	29人
③ 国有林や私有林など、森林の所有者を気にはなかった	5人
④ その他	0人

質問2 国有林の面積に関して当てはまるものはどれですか。



① 思っていたよりも国有林の面積が多い	22人
② 思っていたよりも国有林の面積が少ない	34人
③ その他	1人
～その他の意見～	
・管理する体制が、薄くなっているので仕方がないが、これが日本の財産区分の偏重に思える。	

質問3 国が森林を所有し、管理経営を行っていることについてどう思われますか。また、その理由は何ですか。



① 国が管理する必要がある	35人
② 国が管理する必要性がわからない	1人
③ 都道府県や市町村が管理すべき	5人
④ 適切に管理するのであれば、国や地方公共団体のどちらでも良い	15人
⑤ その他	1人
～その他の意見～	
・国、都道府県等が積極的に管理経営を行わないと、管理体制が、別の新しい次元に組み込まれようと思える。	

◇主な回答内容

①の理由

- ・国が森林を一元管理することで、森林の公共性を十分に発揮させ、次世代に引き継ぐ必要がある。
- ・財政上も厳しい自治体もあり、各地方自治体間で森林・林業に対する経験や知識、森林管理への熱意に温度差がある。
- ・外国投資家による森林の買収からの保護を国で行って欲しい。

②の理由

- ・国が管理している明確な理由がみえてこない。

③の理由

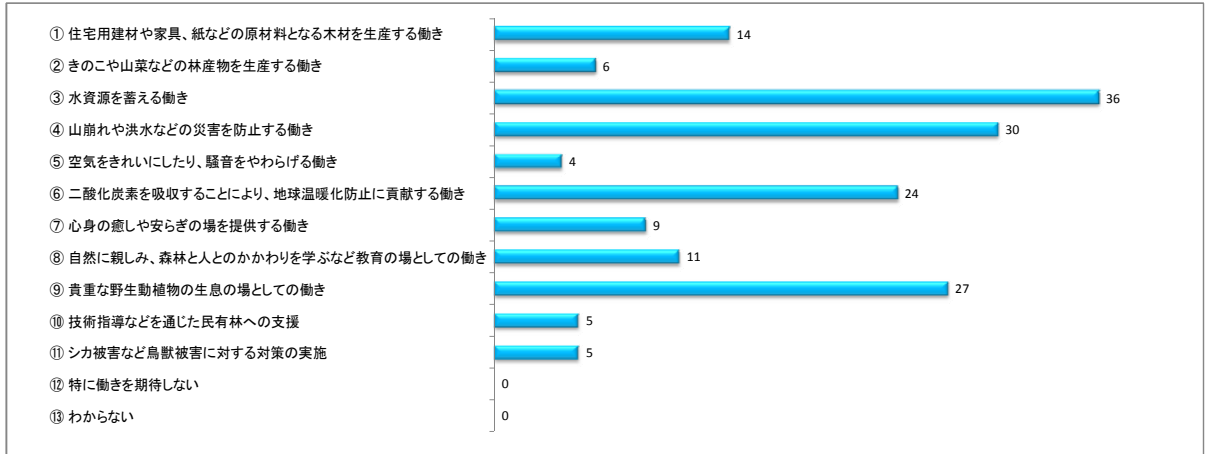
- ・県や市にある森林は、県や市が守るべきだと思う。都道府県単位で管理した方が、早い対応が可能と思われる。

④の理由

- ・適切に管理されることが重要だから。
- ・地域的視点での対策が必要となる面もあることから、「任せられるものは地方に」が原則と思われる。河川や道路のように適切に管理分担すればよい。

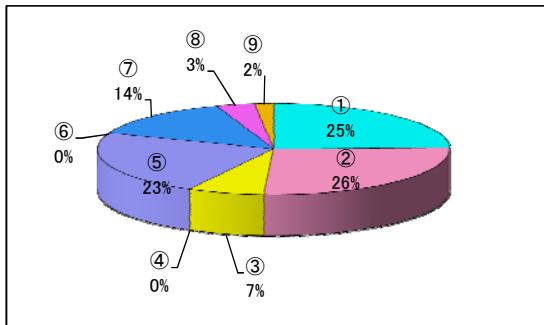
質問4

今後、国有林に期待する働きは何ですか。この中から3つまであげてください。



質問5

10万円の輸入材の製品があったとします。品質やデザインが同じであれば、何万円の差までなら国産材の製品を購入しますか。

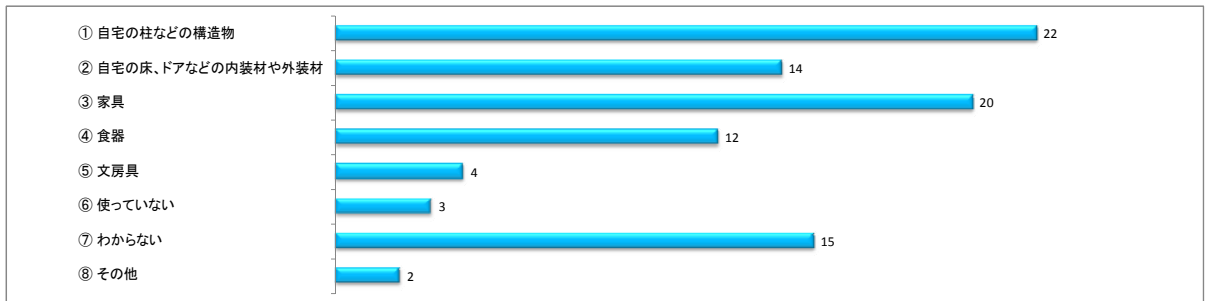


- ① 約1万円高 14人
- ② 約3万円高 15人
- ③ 約5万円高 4人
- ④ 約10万円高 0人
- ⑤ 同価格であれば国産材の製品を選択する 13人
- ⑥ 同価格でも輸入材の製品を選択する 0人
- ⑦ 樹種により木目や色味が違うので、品質・デザイン・価格のみでは決められない 8人
- ⑧ わからない 2人
- ⑨ その他 1人

～その他の意見～
 ・若い世代は団塊世代と比較すると、木材への愛着は3分の1以下に思える。しかし、時代の変化によるものであり、やむを得ないと感じる。

質問6

ご自身が国産材の製品をお使いの場合、それは何ですか。(複数回答可)

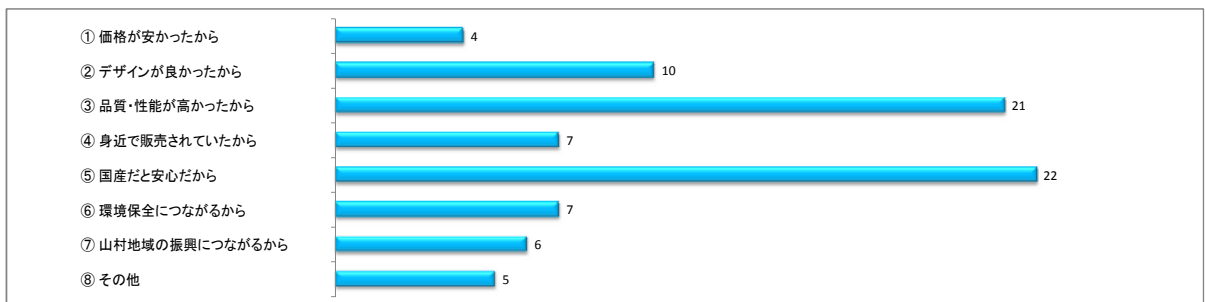


～その他の意見～

- ・炭
- ・特にこだわらない

質問7

質問6で回答された国産材の製品をお使いになる理由は何ですか。(複数回答可)

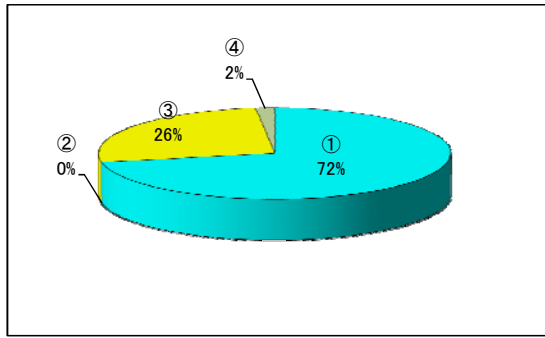


～その他の意見～

- ・かなり以前に建築された建物だから
- ・友人などから頂いたものだから
- ・自分の職場で生産したものだから
- ・家を建てる際に工務店から勧められたため

質問8

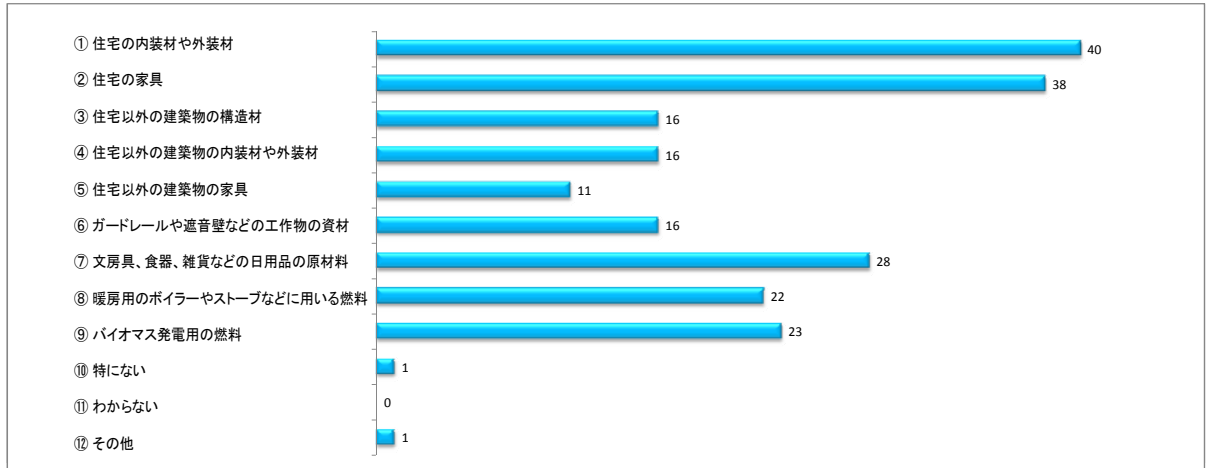
将来の木材供給のあり方についてどうお考えですか。



① できるだけ国産材でまかなうべき	41人
② 輸入材を増やすべき	0人
③ 植林や手入れが適切に行われ持続可能な林業を行っている森林からの木材であれば、国産材、輸入材のどちらでも良い	15人
④ わからない	1人

質問9

今後、国産材の利用について、住宅の構造材用や製紙用以外に、どのような利用形態が増えることが望ましいと思いますか。(複数選択可)

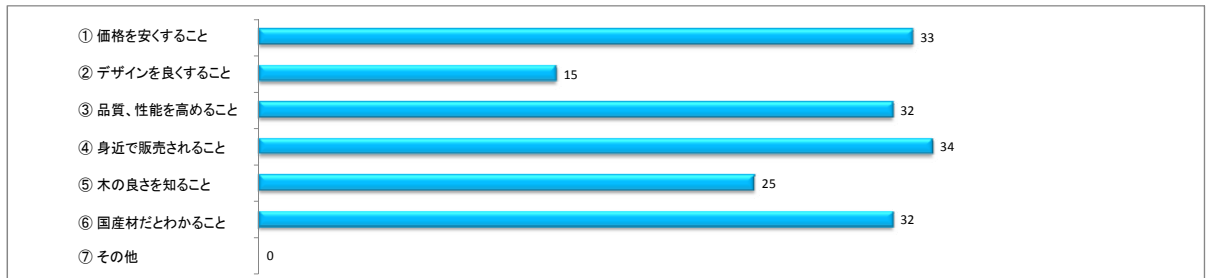


～その他の意見～

・コストが安い事が前提条件となる

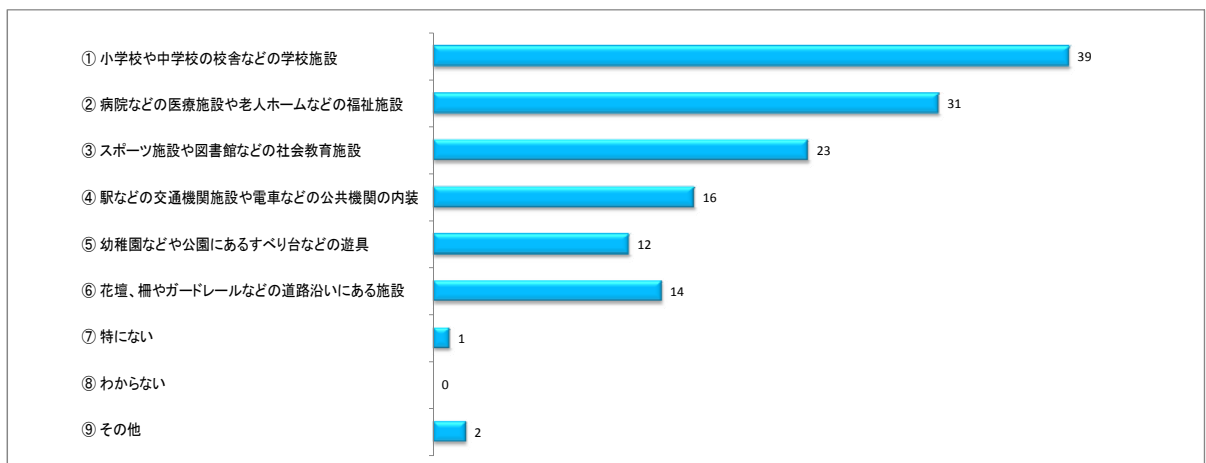
質問10

国産材の製品を多くの方に使っていただくために必要と思われることは何ですか。(複数回答可)



質問11

国や地方公共団体が公共施設や設備に木材を利用する場合、どのような施設が望ましいと思いますか。(複数回答可)



～その他の意見～

・公的な施設を中心に、地産地消費(助成策)から取り組むのが基本と考える

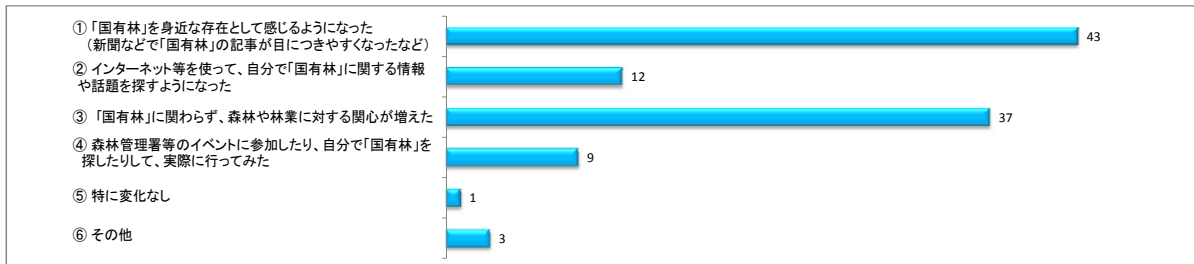
・飲食、睡眠をとまなう施設

質問12・13 関心をお持ちいただきました記事や、今後の活動等に注目される記事はありましたか。また、その理由は何ですか。

◇主な回答内容

<p>・平成24年度国有林モニター会議 災害の復旧工事のご苦労が良く分かりました。(70代:男性) 十津川村の台風被害のその後が気になっていましたが、メディアによる報道もなく、今回の記事で改めて考えさせられました。(40代:女性) 国有林をPRする方法としてメディアへ色々な情報を伝えて国有林をPRし、身近に感じられるようになったら良いと思う。(20代:女性) たくさんの災害による資料を読ませて頂きました。災害に国有林が大きく関わっている事がわかり、とても勉強になりました。(30代:女性) 災害が起きて改めて自然災害の恐さを感じました。守るために何をしなければならぬかを考えました(30代:女性)</p>
<p>・竹林整備は僕たちの手で(兵庫森林管理署) 子どもたちが整備することによって未来につなげていける活動であると思った。管理していくことの重要さを体験を通じ学べる機会が今後もあるとよい。(30代:女性) 森林整備活動は、主に男性の少しお年をめた方というイメージが強くありますが、この記事には、主体が子どもたちであり、自分で考え、感じる事が大事であり、若い世代の理解や参画はとても重要な事だと思います。(40代:男性) 森林も荒れてきているけれども、すごい勢いで竹林が増えてきているように思います。もっともっと山に関心をもってきれいな山になったらと思います。(40代:女性) 未来の家の国有林での森林整備活動の主体が子ども達であることに感銘を受けました。今までの森林ボランティアの活動での大人が主体の活動とは趣が異なり、「その記事」を読むと、子どもたちが生き生きと活動している様子がよくわかり、これからの森林整備活動の発展の上でとても重要な取組みだと思います。(50代:男性)</p>
<p>・夏本番 雷・スズメバチに注意しよう！ 私も土木作業でハチや雷に遭遇する事があるので、非常に勉強になりました。(20代:男性) スズメバチはこわいとわかっていましたが、雷はそこまで考えてませんでした。家の近くで雷が落ちて亡くなった方がいらしたので気をつけようと思います。(30代:女性)</p>
<p>・笑顔の親子いっしょにあそぼ(岡山森林管理署) 小学校や幼稚園を対象にこのようなことが行われればと関心があった。(60代:女性) 親子のきずなは大切だと思うので、こういうイベントはするべきだと思います。(40代:女性)</p>
<p>・平成24年度近畿中国森林管理局重点取組 局・各署(所)の年間の取り組みがよくわかり参考になりました。(60代:女性) 各施策の達成度、反省点等について関心があります。できれば、中間報告なども知りたい。(60代:男性)</p>

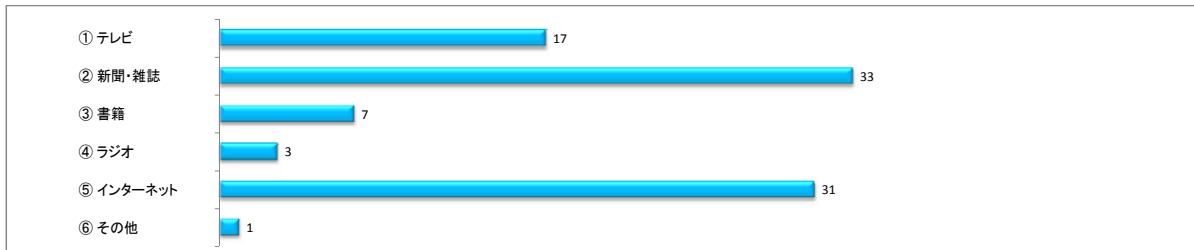
質問14 国有林モニターになってから、「国有林」に対する意識や行動にどのような変化がありましたか。(複数回答可)



～その他の意見～

- ・森林・林業へ興味がありすぎるため、モニター会議ではセーブする気持ちを感じた。しかし、一生懸命にお互いがやらないと、そのうち倒木風景になるように思う。
- ・娘が農学部を出ており、その友人達が森林関係の仕事に就いている。これまであまり話を聞いた事がなかったが、最近は興味を持ち、よく話題にもする。
- ・国有林の面積が少ないためか情報が伝わってこない感じです。
- ・色々資料を送って頂き、少しは森林管理について理解が出来てきたと思いますが、施策に係る法律体系、各省庁との役割分担、大半を占める民有林との政策論等が良く理解出来ません。
 やらなければならない事、どうしても出来ない事等が具体的に明示されると逆に、広く国民の関心が得られると思います。

質問15 情報の入手方法として、主に何を利用されていますか。



～その他の意見～

- ・森のひろば(広報誌)、RINYAなど

質問16

その他のご意見

◇主な回答内容

・広報関係について

広報紙は、小学校や中学校へも配布して欲しい。(60代:女性)

国民の財産である国有林に関する情報やイベントを、マスコミ(テレビ、新聞、インターネット)を通じてもっと情報発信することで、今以上に国有林を大切にしなければならぬという国民の興味・関心も高まっていくと思う。(50代:男性、40代:女性)

国有林だけでなく森林管理の重要性を広める必要を感じた。今後も多くの活動を通じて幅広く広報してほしい。(30代:女性)

・各種イベントについて

組織や予算、関係機関への発信力にかけりが少し見られるのは残念です。特に学校教育、見る・触れる・聞く・楽しむイベント性のある事業や広報の展開に期待したい。

(60代:男性)

一般市民が参加でき、森林保全の理解につながるような身近な企画を数多く様々な媒体と連携しながら実施してほしい。(40代:男性)

森林ボランティアを募って森に親しむ機会を考えて欲しい(60代:女性)

・国産材利用について

国産材の有効利用を促すことは、林業関係のみならず、様々な分野にも波及する効率性の高い事であると感じる。(40代:男性)

今はマンションが全盛だから構造材としての木を勧めても関心が沸かないが、内装材として使うとよいこと勧めると、一部使用する人もいる。太陽光発電を推進するように木を使った家を宣伝してもらいたい。また、国産材の合板をもっと普及させて欲しい。国産材使用のすそ野を広げるためには使いやすい形での提供が必要だと思う。(50代:女性)

国産のものをもっと大切にしたいと感じるようになりました。(30代:女性)

今後、国産材の活用を進めていくためには比較的大きな建物を建築する際に積極的に使用する必要があると思います。(30代:男性)

・その他

大切な森林を子孫に残してほしい。(50代:男性)

森林面積の約3割が国有林。奥山に関しては、「手つかずの森」として次の世代に残してほしい。(50才:男性)